

UFO 目撃情報など不思議な噂の溢れる六甲山で 体験型展示イベント「きみよい植物展 in 六甲ガーデンテラス」 の開催が決定！株式会社人間がプロデュース。

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:妹尾昭孝)が運営する六甲ガーデンテラスでは、2026年4月17日(金)から8月16日(日)まで「きみよい植物展 in 六甲ガーデンテラス ～宇宙植物が生息する都市伝説ガーデン～」を開催いたします。

本イベントでは、UFO目撃情報など都市伝説が数多く存在する六甲山に、宇宙人が作った「宇宙植物」が生息しているという設定のもと、奇妙で少し可愛い「ウソみたいな植物」たちを展示。目があるヒマワリに、笑うキノコ、怪文書をばら撒く花など、様々な宇宙植物を観察・体験できる「都市伝説ガーデン」となります。

イベントの企画・制作は、「面白くて変なことを考えている」をモットーにジャンルにとらわれない発想でコンテンツを生む制作会社「株式会社人間」と、「みっともない」「つまらない」など世の中のあらゆるネガティブ要素『ない』をあえて面白がって企画を考える「ない株式会社」が担当。両社がタッグを組み、“不気味さ”や“怪しさ”といった都市伝説特有の違和感を、ポップで体験的なエンターテインメントへと昇華させ、怖さと面白さが同居する都市伝説らしい没入空間を創出しています。

会場となる「自然体感展望台 六甲枝垂れ(設計者:三分一博志)」は、「六甲山上に立つ一本の大きな樹」をコンセプトとし、氷と風を利用した夏の「冷風体験」や冬の「氷の切り出し」「樹氷」など、六甲山の四季折々の自然を体感できる展望台です。また、昼は眼下に広がる神戸・大阪の絶景が望め、夜は「1,000万ドルの夜景」と評される美しい夜景や、アーティスト・伏見雅之氏の演出によるライトアップイベント「Lightscape in Rokko しよくぶつのあかり」が楽しめます。

本イベントの開催によって、関西はもちろん、全国の皆さまに自然溢れる六甲山へ遊びに来ていただくきっかけを作りたいと考えております。3月下旬に予定しております、「きみよい植物展」の続報にぜひご期待ください。

■きみよい植物展 in 六甲ガーデンテラス ～宇宙植物が生息する都市伝説ガーデン～



【開催日時】 2026年4月17日(金)～8月16日(日)
10:00～21:00 (20:30 最終受付)

【開催場所】 自然体感展望台 六甲枝垂れ

【入場料金】 大人(中学生以上) 1,000円
小人(4歳～小学生) 500円

※価格は税込です。3歳以下のお子様は無料。

【主催】 六甲山観光株式会社

【企画・制作】 株式会社人間、ない株式会社

※天候等で臨時休業・イベント内容の変更を行う場合あり。

※展示内容は、都市伝説をもとにしたフィクションです。

◆リリースに関するお問い合わせ先

六甲山観光株式会社 ガーデンテラス部企画課
TEL:078-894-2281 / FAX:078-891-1171
神戸市灘区六甲山町五介山1877-9

■企画・制作会社のご紹介

株式会社人間

株式会社人間は「面白くて 変なことを 考えている」をモットーに、ジャンルの枠にとらわれないアイデアをつくるコンテンツ制作会社。交通広告やキャンペーンのような広告の企画・制作から、大阪・関西万博まで、やりたいことはやってみる、やる気のある会社です。

■企画・制作事例

OPEN DESIGN 2025 「EXPO WORLDs」



2025年大阪・関西万博にて、会場全体をモニュメントやアート、サイン、音で彩る「OPEN DESIGN 2025『EXPO WORLDs』」をプロデュース。「会場ドレーシング」では、モニュメントやアート作品などを展開。「サウンドスケープ」では、7名のアーティストと共に会場内で流れる音楽を手掛ける。

六甲山スノーパーク

「コスパよし！ タイパよし！ スノパ最大級。」



六甲山スノーパークの25-26シーズンにおける企画・ビジュアル制作を担当。都市部からの好アクセス(タイパ)と手軽さ(コスパ)に加え、雪遊びや「そりごたつ」等の独自コンテンツを“スノーパフォーマンズ”と定義。スキーの枠を超えた「雪のテーマパーク」の魅力表現した。

株式会社

人間

大阪中之島美術館

「驚異の部屋の私たち、消滅せよ。」
— 森村泰昌・ヤノベケンジ・やなぎみわ —



大阪中之島美術館「驚異の部屋の私たち、消滅せよ。」— 森村泰昌・ヤノベケンジ・やなぎみわ —にて、クリエイティブを担当。2026年の万博ポスチヤーに集結した国際的作家3名の作品が凝縮された「驚異の部屋」を舞台に、彼らの世界観を視覚化する。

ない株式会社

「つまらない」「みっともない」「だらしがない」など、あらゆるネガティブな「ない」から企画を考える会社。2025年に月刊ムーとコラボして陰謀論対策を狙ったボードゲーム「都市伝説ダウト『証拠より論』」を発売するも、大学の調査結果で逆効果が判明。

■企画・制作事例

裏がある京都人の 「いけずステッカー」



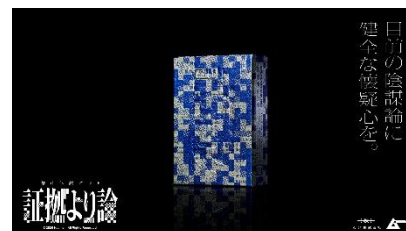
京都の「いけず文化」をお土産にした両面ステッカー。「いけず」が持つ「言いづらいことを遠回しに伝える」という特性を活かし、洛外の方が言えずじまいな本音を京都人に代弁させることが可能です。第4回「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」のチャレンジ部門賞を受賞。

ロマンス詐欺啓発ポスター 「このセリフにキュンときたら#9110」



大阪府警察のロマンス詐欺啓発ポスターとして、詐欺師が使う口説き文句を可愛らしいイラストと共に全面訴求するポスターを制作。大阪府内の駅や商業施設のみならず、大手マッチングアプリ内での掲載や、警察庁採用により全国展開されるなどの広がりを見せている。

月刊ムー監修の陰謀論対策ゲーム 都市伝説ダウト「証拠より論」



社会問題化している「陰謀論」への耐性を高めるべく、月刊ムー監修のもと都市伝説をでっちあげるボードゲームを開発。昭和女子大学・榎原准教授との効果検証も行った結果、まさかの逆効果が判明。「陰謀論対策になる」という商品コンセプト自体が一種の陰謀論化している。

(株)

ない株式会社